



第1回 Fast-Track Cities Workshop Japan

2021年7月10日 東京

主催:



共催:



後援:



本ワークショップ開催にあたり、IAPACはGilead Sciences社の支援を受けていますが、Gilead Sciences社はプログラムの内容や参加者の選定に一切関与していません。



日本の皆様へ

日本における都市のHIV対策に関する、第1回Fast-Track Cities Workshopにご参加いただきありがとうございます。

最初に、日本エイズ学会と国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センターの皆様、その他Workshopのプログラム立案にご協力頂いたすべての皆様に感謝申し上げます。International Association of Providers of AIDS Care (IAPAC)は、日本の様々な地域からFast-Track Citiesにご参加頂き、日本との有益なパートナーシップ構築につながることを期待しております。

このWorkshopは、国連加盟国がHIVとエイズに関する新たな政治宣言の承認に向けて尽力している「エイズ撲滅のための国連ハイレベル会議」の直後に開催されます。政治宣言および新しいグローバルエイズ目標(2021-2026年)設定においては、世界のHIV対策における都市の役割の重要性が再認識されました。これは、2014年の世界エイズデーにFast-Track Citiesネットワークが始まって以降の、その推進力によるところが大きいと言えます。

新規HIV感染者とエイズ関連死撲滅に向けた2025年までの目標を実現するには、政治宣言とグローバルエイズ戦略において、あらゆる組織を超えた協調、そして大規模なプログラムやサービスの確実な実行が欠かせません。また、それらの実現のためには、HIVに関連する差別撤廃、そして都市部のHIV流行に拍車をかけている根強い格差や不平等、そして社会からの孤立などとの闘いも必要です。

今回のワークショップでは、COVID-19パンデミックの中でのHIVケアサービス維持のために、そして日本の都市部におけるHIV対策強化のために、皆様が続けている絶ゆまぬ努力について議論していただきます。皆様の置かれている状況や革新的なアプローチについて、Fast-Track Citiesの幅広いグローバルネットワークの中で共有させて頂くことを大変楽しみにしております。

皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



Dr. José M. Zuniga
理事長 兼 CEO

10:00 – 10:10

開会の挨拶

松下 修三 先生
熊本大学
熊本, 日本

岩本 愛吉 先生
日本医療研究開発機構
東京, 日本

10:10 – 11:00

FAST-TRACK CITIES INSTITUTEとINTERNATIONAL ASSOCIATION OF PROVIDERS OF AIDS CAREの役割

CHAIR

岡 慎一 先生
国立国際医療研究センター
東京, 日本

SPEAKERS

「INTRODUCTION OF FAST-TRACK CITIES – UNDERSTANDING THE BASICS REGARDING COMMITMENTS」

Dr. José M. Zuniga
International Association of Providers of AIDS Care
Washington, DC, USA

「LONDON'S FAST TRACK EXPERIENCE」

Dr. Jane Anderson
Homerton University
London, England, UK

「FAST-TRACK CITIES -SHARING BANGKOK'S BEST PRACTICES」

Dr. Nittaya Phanuphak
Institute of HIV Research and Innovation
Bangkok, Thailand

11:00 – 11:50

ポストコロナ時代の検査機会拡大と早期ART

座長

俣野 哲朗 先生
国立感染症研究所
東京, 日本

SPEAKERS

「早期ART実現に向けての課題」

谷口 俊文 先生
千葉大学
千葉, 日本

「日本のMSMにおけるHIV検査の促進、阻害要因に基づく検査拡大戦略」

金子 典代 先生
名古屋市立大学
名古屋, 日本

「iTesting:新型コロナウイルス感染拡大期における保健所HIV等検査の実施体制に関する研究」

今橋真弓 先生
国立病院機構名古屋医療センター
名古屋, 日本

11:50 – 12:50

休憩(60分)

12:50 – 13:55

PrEP普及上の課題とコミュニティ主導の予防のあり方

座長

白阪 琢磨 先生
公益財団法人エイズ予防財団
東京, 日本

SPEAKERS

「民間STIクリニックにおけるPREPの取り組み」

塩尻 大輔 先生
パーソナルヘルスクリニック
東京, 日本

「国内MSMのPrEP利用の拡大と課題～出会い系アプリ利用者を対象にした調査から」

生島 嗣 様
特定非営利活動法人ぶれいす東京
東京, 日本

「首都圏居住のMSMを対象とした、PrEPを含むCOMBINATION PREVENTIONの展開の課題の検討 ～コミュニティセンターaktaの立場から」

岩橋 恒太 様
特定非営利活動法人akta
東京, 日本

「PREPと向き合う地方のCBOとMSMコミュニティ」

塩野 徳史 先生
大阪青山大学
大阪, 日本

13:55 – 14:00

パネルディスカッション

司会

上村 悠 先生
国立国際医療研究センター
東京, 日本

13:55 – 14:30

パネルディスカッション 1 日本におけるHIV検査機会拡大と早期ART

パネリスト

今橋 真弓 先生
国立病院機構名古屋医療センター
名古屋, 日本

城所 敏英 先生
東京都新宿東口検査・相談室
東京, 日本

谷口 俊文 先生
千葉大学
千葉, 日本

他

14:30 - 15:00

パネルディスカッション 2 日本におけるPrEP導入と普及の課題

パネリスト

水島 大輔 先生
国立国際医療研究センター
東京, 日本

岩橋 恒太 様
特定非営利活動法人akta
東京, 日本

塩野 徳史 先生
大阪青山大学
大阪, 日本

他

15:00 – 15:05

パネルディスカッション総括

15:05 – 15:15

休憩(10分)

15:15 – 16:20

スティグマとの闘いについて

座長

松下 修三 先生

熊本大学

熊本, 日本

SPEAKERS

「葉害HIV感染被害者が受けた偏見差別と、解消に向けた取り組み」

武田 飛呂城 様

社会福祉法人はばたき福祉事業団

東京, 日本

「日本のHIV陽性者におけるスティグマと差別」

井上 洋士 先生

順天堂大学大学院

東京, 日本

「医療機関におけるHIV感染者の受け入れと外国語支援ニーズ」

星野 晴子 様

国立国際医療研究センター

東京, 日本

「コロナ禍で見えてきた在住外国人の医療アクセスの課題」

沢田 貴志 先生

港町診療所

横浜, 日本

16:20 – 16:50

全体討論 FAST-TRACK CITIES INITIATIVE

16:50 – 16:55

閉会の挨拶

白阪 琢磨 先生

公益財団法人エイズ予防財団

東京, 日本

岡 慎一 先生

国立国際医療研究センター

東京, 日本



www.Fast-TrackCities.org



www.IAPAC.org